

名古屋北部民商ニュース

発行：2023年5月29(月) No. 522

名古屋北部民主商工会
〒462-0035 北区大野町3-19
TEL (052)915-8111
FAX (052)915-8111
E-mail jimukyoku@hokubuminsho.st1.jp

インボイス中止をあきらめないぞ！

インボイスは中止しがない！ 大曽根駅と大曽根商店街で宣伝

5月20日(土)午前10時から、大曽根駅で「インボイス制度中止」をアピールする行動を行いました。参加者は、役員の大谷さん、森さん、山田さん、小塩さん、婦人部の安齋さん、三浦さんと事務局2名の合計8名。駅頭では、高校生の集団が「インボイスってなーに？」と近づいてきたり、若い女性が、全商連のピラを広げてじっくり目を通していたり。30分駅頭で宣伝したあと、大曽根商店街へ。「秋に、ご協力いただいた署名は、国と名古屋市議会へそれぞれ出しました。市議会では、保留で終わっていますが、私たちは、あきらめずに今度の市議会へも署名を提出します」というと、「そんなことになっているんですね。私のところは、店子さんとも話し合い、インボイス登録はしないことにしました」「頑張ってください」と激励を受けました。美容院や花屋さんなどにも、どんどん入って行って、署名用紙と民商のチラシ入りの袋を渡しました。大きな美容室の前を通りかかったとき、若い男性の美容師さんが出てきて、私たちがかぶっていたサンバイザーを指さし「それ、いいですね、僕欲しいな〜」と。「どうぞ」と差し上げると、さっそくかぶり「僕、これかぶって仕事します」と記念撮影にも応じてくれ、とてもフレンドリーな美容師さんでした。サンバイザーに張り付けた黄色に黒い文字のロゴは、イラストレーターや声優さんなどが参加する「STOP! インボイス」の会の皆さんが作成したものを借用。「インボイスいらんがね」のポスターは愛商連から。



心づくしの総会にほっこり

5月21日(日)午前10時から愛商連婦人部協議会の定期総会が労働会館で開催され、67人が愛知県下から参加しました。名古屋北部民商婦人部からは、前田さん、三浦さん、加納さん、安齋さん、事務局の5人が参加。テーブルには、オレンジや紫のテーブルクロス、真ん中にはお花。加藤愛婦協会長は、「商工新聞一面に、こども食堂の取り組みが掲載されたことで、全国から反響があった。今後も、こうした輪が広がってほしい。G7が開かれているが、核兵器廃絶への決意が感じられない。平和の取り組みを強めたい」とあいさつ。来賓の愛商連の服部会長からは、「東京杉並区では、48人の議員のうち24人が女性になった。自民党の現職が7人落選したが、それは投票率がアップしたから。愛知県でも日進市は男女同数になった。こうした流れを進めよう」と述べました。代表報告では、尾北民商婦人部が、新たな婦人部役員を作った経験、稲沢民商婦人部の乳がん検診の取り組み、知多中央民商が知多半島を縦断して14人の部員を増やした経験などが、語られました。午後は、平和委員会の矢野さんを講師に、「安保3文書は何を目指すか」と題した学習。奄美での日米合同演習の動画も見ながら、今の日本の状況を学びました。最後は、みんなで「青春時代」「百万本のバラ」「故郷」などを、ギター伴奏で楽しく歌いました。いろいろな酒類のお茶や飲み物、おやつのカステラまで用意され、心づくしの総会となりました。



名古屋北部民主商工会第12回定期総会のお知らせ

日時 6月17日(土) 19時から 場所 鳩岡の家3階ホール(北区鳩岡町1-1-5)